

本年度社労士試験合格者体験記

②

諦めずに勉強を続けました



田中圭子

今までやつてきた仕事を何か形にしておきたいと思い、気軽に申し込んだ社会保険労務士の受験講座でしたが、受講して、その内容の広さと難しさに唖然としてしまい、しばらくの間は勉強に手がつかない状態でした。年が明け、お正月気分がすつきりなくなつた頃ようやくやらねばと勉強を始めた次第です。

まずノートに書いてまとめることがから始めました。難しい文面は書いてみるとわかつてくることがありました。そして短

時間でよいので、とにかく毎日勉強することを目指して、主に就寝前のテレビを見たりして、何となく過ごしていた2、3時間勉強にあてることにしました。けれど、思っていた以上に記憶することが大変でした。先生がおっしゃっていた、目安の800時間にはとても届きませんでした。

もつと早くに勉強を始めていればと落ち込んだ時もありましたが、諦めず続けることができたのは熱心に指導して下さった諸先生、並びにいつもあたかく迎えて下さった協会の方々、そして机を並べた受講生の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

思いがけず合格することができ、これからは少しでも社会の役に立つていくことができればよいなど思っています。

(自営・製造業)

当協会では、本年度も土・日曜日に社労士講座を開催しています。ご希望の科目のみご受講頂くことも可能です。各科目の開催スケジュールは、機関誌「Mei hoku」11月号、又はホームページ(<http://www.meihokurooki.or.jp/>)をご覧ください。

詳しくは、当協会総合受付(☎052-961-1666)にてご案内いたします。

去る12月24日、愛知労働局・愛知快適職場推進

(株)不動テトラ中部支店に 快適職場推進計画認定証 が授与される



センターによる快適職場推進計画認定証の授与式が名古屋合同庁舎第2号館(名古屋市中区栄)にて行われ、(株)不動テトラ中部支店(名古屋市中区栄)に快適職場推進計画認定証が授与されました。

これは同事業場が計画している空調設備の導入をはじめ、休憩室の設置、喫煙コーナーの煙への対応等が「事業者が講ずるべき快適な職場環境の措置に関する指針」に照らして適切であるとして認定されたものです。

当日は、同事業場執行役員支店長 白川英二氏(写真左)ならびに安全環境部長 四戸一夫氏(同右)に、菅愛知労働局労働基準部労働衛生課長より、認定証が手渡されました。

平成22年度安全優良職長 厚生労働大臣顕彰受賞者

(名北労働基準協会会員事業場分)

▼岡田勝(王子製紙(株)春日井工場)